

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

**\* 1958年4月19日の金環日食の16mm映画フィルムのDVD化**

アーカイブ新聞第980号(2016年12月28日)に「1958年4月19日の金環日食の8mm映画フィルム発見」という記事を書き、このフィルムが8mmフィルムでなく16mmフィルムだったという記事をアーカイブ新聞第982号に書いた。この16mmフィルムのDVD化が出来、納入された。が、しかし、この100フィートの5分ほどの16mmフィルムには1958年4月19日の金環食は写っていないで、飛行機の中の観測光景のみであった。金環日食の画像はなかったのである。筆者が西先生と探していたものであることは確かなのだが、西先生の言っておられた日食の画像がなかった。非常に残念というか、期待を裏切ったというか、むなしいというか、複雑な気持である。

とにかく、今回はDVD化し、その画像を見ることが出来たので飛行機の中の様子を紹介する。今後、金環日食の画像の入ったフィルムが発見されることを期待して、アーカイブの仕事が続けることになる。まずは、観測装置を操作する西先生の姿である(写真1)。若い頃の西先生の写真はあまり知られていない。



写真1 望遠鏡を操作する西先生

写真1の両側には、飛行機の窓が見え、狭い空間であることがわかる。この飛行機の天井部分に開口を設け、太陽に望遠鏡を向けた様子が写真2、3である。当然のことながらこの開口に窓ガラスは入っていない。どのくらいの高さを飛んだかわからないが、相当な風が吹き、かなりな寒さであったろう。



写真 2 天井の開口

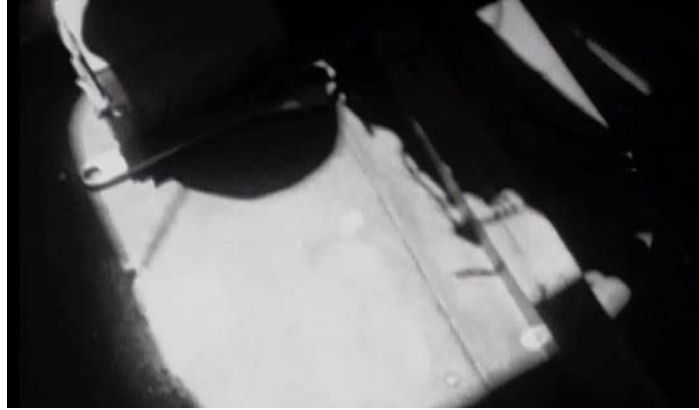


写真 3 開口に向けた望遠鏡

画像の中には、西先生の若い姿が見えた。写真 4 である。



写真 4 西先生と望遠鏡

今回は期待した金環日食の映像はなかったが、貴重な観測光景を見ることが出来た。金環日食像が写ったフィルムの発見を期待したい。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)